

記念館だより

2021年12月号

「クリスマスに願いを」

加藤 輝勢子

コロナ禍で始まった4月、徐々にコロナが収まるのではと思いましたが、そして三蜜を避けながら、少しでも子どもたちと何かできないかと考え、計画を始めました。小学校も工夫をしながら、行事もして子どもたちはいろいろな経験をしたことを話してくれました。記念館でも6月には横川親水公園でオリエンテーリングをしました。蔓延防止等重点措置になり、夏休みに入ったら、徒歩で行ける社会見学に行こうと計画もしました。オリンピックの前くらいからコロナ感染拡大が徐々に増え始め緊急事態宣言になり、見学会は中止になりました。そして、学童クラブでは室内でできることを工夫して子どもたちといろいろな体験をすることができました。

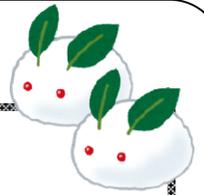
緊急事態宣言が解除になり、徐々に感染者も少なくなり、学校公開に行ったり、お出かけしたりできるようになりました。恒例の高尾山登山は、多くの人の参加もあり、有意義な一時でした。頂上で食べたお弁当はおいしくみんな笑顔でした。また、向こうに富士山がしっかりみえていました。秋を満喫することができました。そして12月、子どもたちにとっては楽しいクリスマスがあります。

「クリスマスといえば？」と子どもたちに質問すると「サンタさんからプレゼントをもらう日」という答えが返ってきました。

今回はトルストイ作『くつやのマルチン』のお話をします。

マルチンは一人で靴を作っていました。マルチンの奥さんと子どもはすでに亡くなりました。マルチンが聖書を読んでいると不思議な声「マルチン、明日お前のところに行くよ」という声を聞きました。次の日、マルチンは外を気にします。すると雪かきをしていたおじいさんが一人で立ちながらポーっとしていました。マルチンは雪かきのおじいさんにお茶に誘います。おじいさんは体も心も温まりました。次に乳飲み子と母があらわれました。お母さんは薄着で、お乳もでないようでした。マルチンはこの親子を招き入れ、スープをご馳走し、奥さんの上着を使ってもらいました。そんな、一日が過ぎて、待っていた人が来なかったと思っていると、不思議な声がして「私が行ったのに気が付かなかったか」と言って、おじいさんや若い親子が出てきました。マルチンのやさしい行為が神様に通じました。クリスマス、今困っている人や、苦しんでいるみんなが幸せになりますように。

学童クラブ



2022年度学童クラブ入会受付中！！

12/18（土）まで受付を行っています。4階記念館事務室にお越しください。
※日曜、祝祭日を除く10時～19時 詳しくは掲示やホームページをご覧ください。

勤労感謝の日に合わせて、いつもお世話になっている方々へ「ありがとうカレンダー」の製作をしました。グループで消防署や保育園など地域の施設へ届ける子どもたちもいれば個人で家族に渡す子どももいました。子どもたちは「まいにちおしごとおつかれさま」や「いつもありがとう」と感謝を伝えるメッセージを書いていました。渡した相手が喜ぶのを見て嬉しそうな様子の子もたちでした。（柳田）

どんな風に作
ろうかな…？
みんなで話し
合い！



コスモス会

気がついたらもう冬ですね。コスモス会のお弁当も季節の野菜や食材の味が楽しめるようボランティアさんがひと工夫して下さっています。一例をご紹介しますと、「こんにゃくの田楽、れんこんハンバーグきのこソースぎんなん添え、芋茎の酢漬、餃子の皮のあんこ巻、ゆず大根、すいとん汁」など、聞くだけで心が温かくなるメニューばかり。ボランティアさんの気持ちはきっと利用者に届いていると思います。調理ボランティアさんを引き続き募集しています。（針谷）

記念館トピック

12月29日(水)～1月3日(火)の間、記念館は閉館しています。来年は1月4日(水)からとなります。

【賀川研究会】

『日本キリスト教史における賀川豊彦
— その思想と実践 —』をテキストに学びます。

12/9（木） 19:00～

本所賀川記念館3F ホール

※ 新型コロナウイルスの拡大状況によっては延期となる場合があります。

美術教室



第2～4週水曜日 15:00～17:00

講師：亀田谷亜礼先生

クリスマスカードの挿絵を描いてくれました♪

ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

